

小児科専攻医 360 度評価表

日付 年 月 日

専攻医名 評価者名 職種

病院名

該当する欄にチェック(✓)を入れて下さい (Nは評価機会がない場合、職種として評価できない場合を含む)

	A よく できる	B できる	C 少し 足りない	D できない	N 評価不能
1. 小児科医としての総合的な臨床能力					
臨床手技の能力、現場での様々な配慮 重症度・緊急度の判断、適切な対応					
患者・家族とのコミュニケーション、信頼関係構築 心理社会的側面への配慮					
効果的な時間配分 社会・医療資源の精通と活用(制度、多専門職)					
2. 小児保健・育児支援の姿勢					
健康診査、予防接種活動の理解と参画 健康増進活動、療養指導、育児支援の理解と関与					
3. 子どもの代弁者としての姿勢					
患者・家族の思いを診療に反映する姿勢 患児の社会生活への配慮と支援					
4. 学識を積み、探求する姿勢					
最新の情報を常に学ぼうとする姿勢 検討会、研究会等への積極的参加、成果の発表					
5. 医師としてのプロ意識					
同僚とのコミュニケーション・チームワーク 多専門職を尊重する姿勢					
リーダーシップ 同僚・多専門職を教え、共に学ぶ姿勢					
自己の限界の認識(適切な相談) 自己のストレス・健康管理					
6. 概略評価					
総合的に判断して評価して下さい					
優れている点(自由記載)					
気になる点(自由記載)					

小児科専攻医とは：初期研修を修了し、小児科専門医取得を目指している後期研修医のことです

360 度評価とは・・・

専門職教育において評価は非常に重要です。

その中でも職位や職種を越えて学習者（専攻医）の評価をすることが重要視されるようになっていきます。360 度評価の目的は、専攻医を取り囲むすべての人たちが専攻医を観察し、その内容を当人に伝えることで更なる学習につなげることです。また、同じ職位ではわからないこと、同じ職種ではわからないことを共有することを目的としていますので、それぞれの職位、職種の目線で専攻医の優れている点、気になる点を率直に評価してください。

記載された評価表は研修管理委員会で回収したうえで分析し、誰による記載かは伏せて間接的に専攻医にフィードバックしますのでご安心ください。

この日本小児科学会専攻医 360 度評価の基準はおおよそ以下のとおりです。

- | |
|---------------------------------------|
| A：専門医として十分にできる |
| B：専門医として許容できる |
| C：専門医として少し足りない |
| D：全くできない |
| N：評価する機会がない、もしくは自らの職種の性格上、評価することができない |

どのような場合に A 判定とするか、A と B の違いは何か・・・などは非常に抽象的ではありますが、評価者の皆さんが考える小児科専門医像をもとに記載していただいて結構です。

自由記載欄には、専攻医の優れている行動（専門医として十分なことを示す良い行動）や、気になる行動（専門医としては不十分なことを示す改善すべき行動）を具体的に記載してください。

小児科専門研修の向上にご協力をよろしくお願いいたします。